

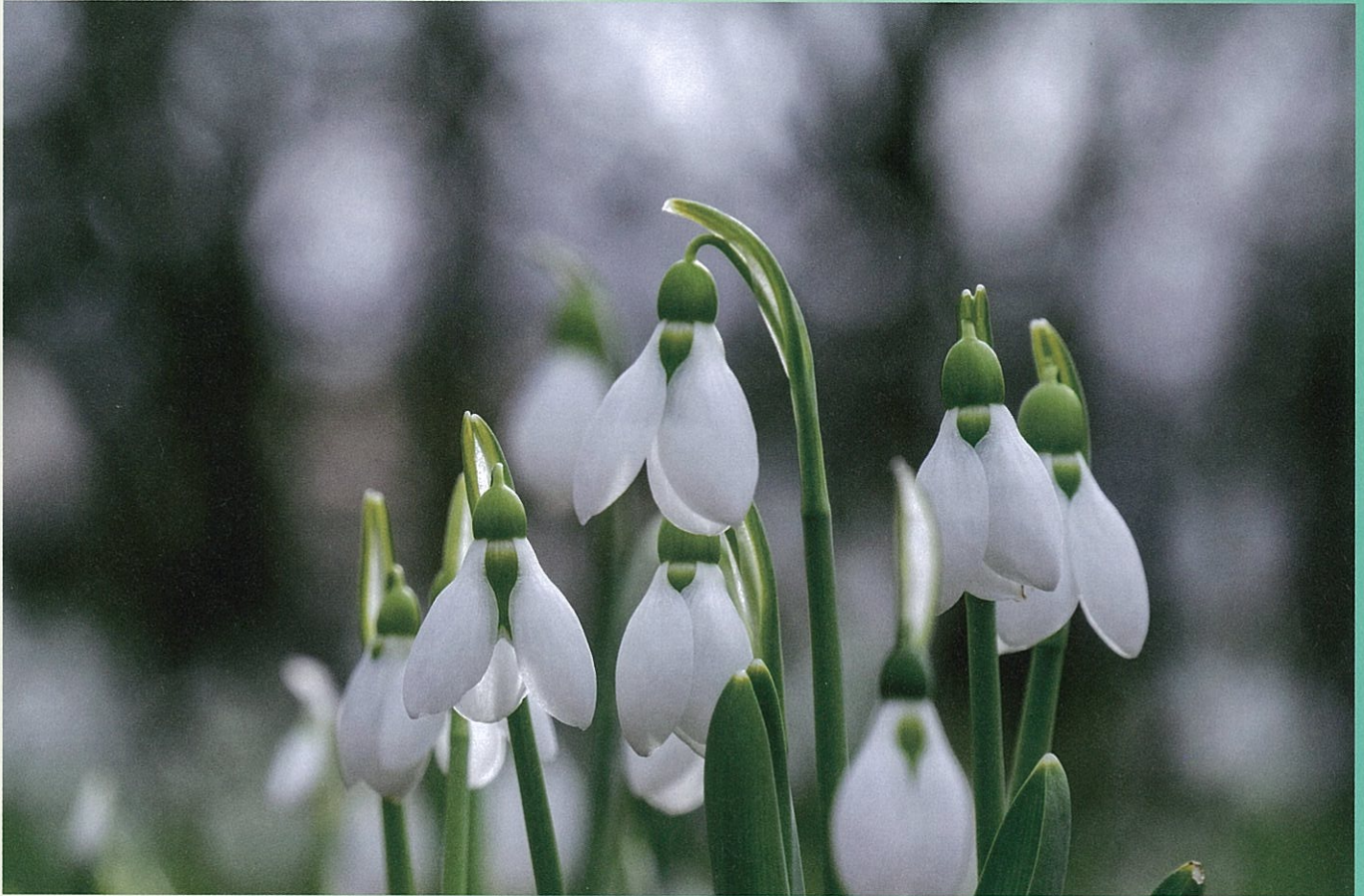


富山県

No.99

2021年3月

中央植物園だより



第23回私の植物写真展 富山県中央植物園長賞作品「妖精たち」 撮影 / 発田 奈穂里さん

スノードロップ (ヒガンバナ科)

地中海沿岸から西アジアに20種が分布し、植物園で栽培しているのはギリシャなどが原産のオオマツユキソウです。雪解け後しばらくして咲く白い花はまさに「雪のしずく」のようです。

今年の桜 ニュウゼンオトメキクザクラ

植物園友の会では、毎年植物画部会会員が描いた桜の絵はがきを作成し、4月からサンライトホール内のドリラスショップで販売しています。2021年の今年の桜はニュウゼンオトメキクザクラ(入善乙女菊桜)です。富山県東部の入善町の天然記念物「杉沢の沢スギ」内で発見されたサクラです。花卉が100枚以上ある菊咲き性のサクラで、今年が発表から10年目にあたることから選定しました。



植物園内のサクラ

植物園には、120種類、490本のサクラがあり、例年3月中旬から5月初旬まで様々なサクラが花のリレーをつなぎます。

*早咲きのサクラ (3月上旬～4月上旬)

サクラ・ウメ園では3月に入るとカンザクラやツバキカンザクラなどが咲き始めます。また台湾や中国南部原産のカンヒザクラを交配親とする多数の品種があり、下向きで濃いピンク色の花色となります。

ヘイチチザクラ (平七桜)

カンヒザクラとオオカンザクラの交雑種で、香りの植物エリアのフェンス外側に植えられています。濃いピンク色の花が枝いっぱいにつき、花の少ない時期によく目立ちます。



ヘイチチザクラ

*ソメイヨシノと同時期に咲くサクラ (4月上旬～中旬)

ソメイヨシノ (花のプロムナード)

園中央の東西300mにわたって道の両側に90本が植えられており、満開時には花のトンネルとなります。昭和52年に植えられたもので、44年以上の樹齢です。



ソメイヨシノ

コシノヒガン (クリ・コナラの森)

エドヒガンとキンキマメザクラの交雑種で県西部に自生がみられる富山県発祥のサクラです。ソメイヨシノよりも少し早く咲き、花が大きくピンク色となります。



コシノヒガン

ヤエベニシダレ (サクラ・ウメ園)

エドヒガンの品種で八重咲きで花の色が濃いピンク色です。京都の平安神宮のサクラとして有名です。園内には3本植えられ、さくらまつり時にはライトアップされた姿を披露します。



ヤエベニシダレ

*遅咲きのサクラ (4月中旬～5月上旬)

☆サトザクラ (4月中旬～下旬)

オオシマザクラが基になった園芸品種群の総称で、江戸時代に多く作られました。花のプロムナードの南側はサトザクラの並木で、様々な花の色や形をした品種があります。

タイハク (太白)

サトザクラの中では開花が早く、白色で大きな一重咲きです。日本では一度絶滅しましたが、イギリスのサクラ研究家イングラム氏の庭にあった木から穂木を取り、1932年にシベリア鉄道に乗って日本に里帰りしました。



タイハク

変わった色のサクラ

変わった色の品種といえば黄色いウコン (鬱金) が有名です。古い品種で江戸時代にはすでに栽培されていたそうです。その他に1990年に神戸市で発見されたスマウラフゲンソウ (須磨浦普賢象) や、長野県須坂市のソノサトキザクラ (園里黄桜) もあります。またギョイコウ (御衣黄) は黄緑色の花弁に濃い緑の筋が入る緑のサクラです。



ウコン



スマウラフゲンソウ



ギョイコウ

カンザン (関山)

サトザクラの中でもっともよく栽培されている品種です。花は大きくて濃いピンク色の八重咲きになり、華やかなイメージです。食用の桜で、塩漬けにした花は桜湯などに使われます。



カンザン

菊咲き性のサクラ (4月下旬～5月上旬)

サトザクラの中で、一つの花に花弁が100枚以上あって、花の形がキクに似ている品種は「菊咲き性のサクラ」と呼ばれます。ケンロクエンキクザクラはお隣石川県の兼六園に原木があった品種で、ピンクの玉のような花が垂れ下がります。ヒヨドリザクラは花弁が400枚以上と最も多くなる品種で、5月上旬にこの花が咲くと植物園のサクラも終わりを告げます。



ケンロクエンキクザクラ



ヒヨドリザクラ

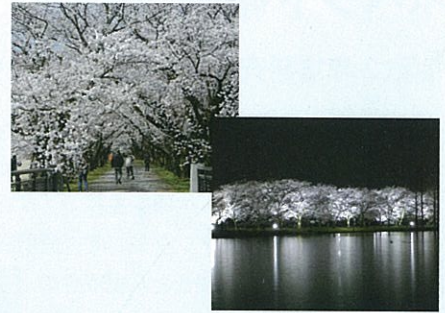
*「富山県ゆかりのサクラ」コーナー

桜並木の北側に富山県オリジナルのサクラのコーナーがあり、近年植物園ととやまさくら守の会の調査研究で発見・発表されたコシノフユザクラなどが植えられています。まだ小さい木が多いですが、富山のサクラもどうぞお楽しみください。

これからのイベントのお知らせ

第10回さくらまつり 4月2日(金)～5日(月)

植物園中央にあるソメイヨシノ並木の満開に合わせて、今年も4月2日(金)～5日(月)に「第10回さくらまつり」を開催いたします。この4日間は午後6時ごろからライトアップし、開園時間を午後9時半まで延長します。桜のクイズラリーやとやまさくら守の会のサクラの解説を実施します。またこの期間のみ、桜並木に近い東入園口からも入園できます。なお今年も新型コロナウイルス感染防止のため、ドリアスコンサートや呈茶席は中止いたしますのでご了承ください。



昨年のさくらまつり

第41回春のラン展 5月2日(日)～4日(火・祝)

富山県蘭協会と共催で、「第41回春のラン展」を開催いたします。この時期に見頃となるエビネの仲間を中心に、カトレヤなどの洋ランやシュンランなどの東洋ランなど約250点が出展されます。昨年は緊急事態宣言のため中止となりましたので、2年ぶりの春のランをお楽しみください。特別展示は「野生エビネの仲間たち」として、日本に自生する野生のエビネの仲間を写真で紹介いたします。



エビネ



カトレヤ

トピックス

桐野ツバキコレクションが導入されました

富山県旧八尾町出身で日本ツバキ協会会長として世界的に著名なツバキ研究家であった故桐野秋豊氏のご家族から寄贈の申し出があり、桐野氏が栽培されてきた珍しいツバキのコレクションや研究資料の受入を行いました。東京都八王子市のご自宅からツバキの苗100本が植物園へ輸送され、園内に移植されました。



移植されたツバキ

園内のトイレが洋式になりました

今まで園内のトイレは和式が多く、年配の方やお子さんから使いにくいとのご意見をいただいていたのですが、このたび県によるトイレ洋式化工事が行われ、駐車場、サンライトホール、東、西の各トイレが洋式トイレになりました。



サンライトホール内のトイレ

植物園裏話

『大雪に見舞われた植物園』

栽培展示課 高橋一臣

今年の1月、北陸地方は例年になく大雪に見舞われました。富山市でも積雪が1mを超え、交通に大きな影響が出ました。私自身は1月9日の夕方に職場から車で自宅に帰ろうとしたところ、トラックの立ち往生で先に進めなくなり、車中で1夜を明かすという経験を初めてしました。「新春カトレヤ展」を開催中だった植物園も、周囲の道路状況が悪く、1月10日から4日間の臨時休園を余儀なくされました。出勤できた職員は、建物や温室周辺の除雪に追われました。温室の周りには屋根から落ちた雪を融かすために水を張った溝があるのですが、融雪が追いつかず、温室の側面に大きな雪の山ができてしまいました。積もった雪の圧力でガラスが割れて温室内の気温が下がっては一大事なので、必死で積もった雪をとり除く作業に追われました。

しばらくして屋外の園路の除雪が進むと、屋外展示園では多くの樹木が枝折れの被害を受けていることが判明しました。折れた枝の量は膨大で、処理には気が遠くなるような長い時間を要しました。枝折れは冬でも葉をつけている常緑樹で目立ちましたが、特にスタジイヤクスノキは雪に弱いようです。温暖な地方の森林を再現した「シイ・カシの森」エリアは、落下した枝で一時はたいへんな状況になっていました。ウメやサクラなどの落葉樹にも被害があり、「富山県ゆかりのサクラ」コーナーに植栽された低木性のサクラ、コシノフユザクラやコシノフクカサネでは、着雪で枝がたわんだうえ、積雪が締まって沈んで行くのにもなって枝が下に引っ張られる沈降圧によって、分岐部分が「また裂き」になる被害がみられました。幸い、桜並木のソメイヨシノには数か所で枝折れがあったものの大きな被害はなく、お花見には影響しないようです。



温室の側面に積もった雪を取り除く



枝折れの被害を受けたスタジイ



枝がまた裂きになったコシノフユザクラ

イベント報告

令和2年度研究発表会および発表会

職員の研究内容を紹介する研究発表会を1月15日(金)～2月17日(水)に、研究発表会を1月24日(日)に開催しました。今回注目された研究は、大原副主幹の「富山市で見出されたサクラの新品種クレハオトメシダレ」で、呉羽山公園・都市緑化植物園内の1本の桜が一重咲きと八重咲きの花が混ざって咲く特徴があり、コシノヒガンの新栽培品種であることを発表しました。事前に地元新聞で取り上げていただき、発表会当日は多くの方が聴講に訪れました。



研究発表会

第8回クリスマスローズ展

2月19日(金)～21日(日)に富山クリスマスローズの会、富山クリスマスローズ生産者組合と共催で、「第8回クリスマスローズ展」を開催しました。直前の17日～18日の大雪で一部展示物の搬入が遅れましたが、合計で185鉢のクリスマスローズが並び、入園者を楽しませました。また期間中の土日には「あなただけのクリスマスローズ相談会」と題し、個別での栽培相談会を行い、参加者には好評でした。



クリスマスローズ展

催し物のご案内

※ 新型コロナウイルスの状況によって開催内容を変更する場合があります。

■特別開園

第10回さくらまつり

4月2日(金)～5日(月)
9:00～21:30(入園は21時まで)
さくらまつり入園料 大人200円
高校生以下・70歳以上無料

県民ふるさとの日記念無料開園

5月9日(日) 9:00～17:00

■企画展示

会場:サンライトホール 入園料が必要です。

植物園で楽しむ日本全国桜旅

～4月21日(水)

第39回ツツジ・シャクナゲ展

4月23日(金)～25日(日)
共催:日本ツツジ・シャクナゲ協会富山県支部

第42回春のラン展

5月2日(日)～4日(火・祝)
共催:富山県蘭協会

春のサボテン・多肉植物展

5月7日(金)～9日(日)
共催:富山サボテン会

第26回私の植物画展

5月11日(火)～6月2日(水)

第35回イワチドリ展

5月14日(金)～16日(日)
会場:ドリアスホール
共催:富山県ウチョウラン保存会

さつき・盆栽展

6月4日(金)～6日(日)
共催:富山卓月会、日本盆栽協会富山支部

第39回ウチョウラン展

6月18日(金)～20日(日)
共催:富山県ウチョウラン保存会

■講座・講習・講演会

シャクナゲの栽培と管理

4月24日(土)、25日(日)
両日とも14:00～15:30
会場:サンライトホール(入園料が必要)

ランの栽培と管理

5月3日(月・祝)、4日(火・祝)
両日とも14:00～15:30
会場:ドリアスホール(入園料が必要)

講演会「富山の自然を食らう

一野生生物と食文化」
5月15日(土) 13:00～16:00

会場:管理研修棟研修室

共催:富山県生物学会

植物画講習会 ◆要申込

5月22日(土)、23日(日)

10:00～16:00 2日間連続
会場:管理研修棟研修室

植物写真教室「やさしい花の撮り方」

◎要申込
5月30日(日) 13:00～16:00
会場:管理研修棟研修室、園内

ボタニックガーデンクラブ

コケ玉づくり ◎要申込

6月19日(土) 13:30～14:30
参加費:1,500円
会場:ドリアスホール(入園料が必要)

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ボランティアと歩く植物園
第1,2,4日曜日 13:30～14:00
集合場所/サンライトホール
園長と歩く植物園
第3日曜日 13:30～14:00
集合場所/サンライトホール

◎要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から「電話」でお申込ください(先着順)。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から往復はがき、FAX、メール(botanic@bgtyrn.org)で受け付けます。

富山県中央植物園 入園案内

開園時間

9:00～17:00(入園は16:30まで)
11月～1月は9:00～16:30
(入園は16:00まで)

休園日

毎週木曜日
4月第1、2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料

大人(一般および大学生) 500円
団体料金(20名以上) 400円
高校生以下及び70歳以上通年無料
冬期入園料(12月～2月)
大人(一般および大学生) 300円
団体料金(20名以上) 240円
高校生以下及び70歳以上通年無料
年間パスポート 購入日より1年間 2,100円

交通案内

バス:JR富山駅から富山地鉄バス
「ファボーレ經由萩の島循環」または
「ファボーレ經由速星行き(休日のみ)」
に乗り「植物園口」停留所下車、
徒歩約12分
車:富山市中心部より車で約15分
北陸自動車道富山ICより車で約15分
JR速星駅より車で約8分